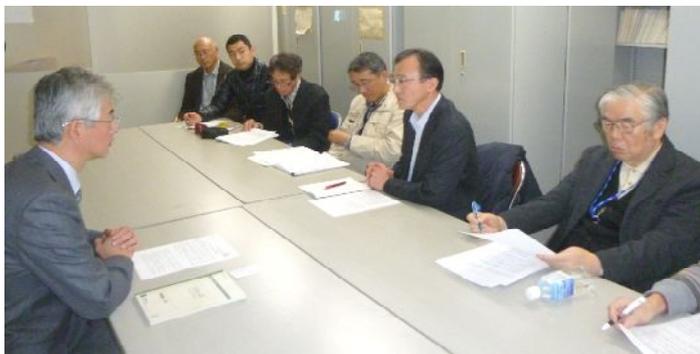


「府民の会」 Xバンドレーダー運用開始の停止を! 京都府に緊急要請 今も続く、騒音・交通事故対策こそ、優先すべき… 府: 「25日、直接米軍に要請した」



・12月26日、レーダー運用開始で緊急申し入れする「米軍基地いらない京都府民の会」

『府民の会』が緊急申し入れ

年末の押しせまる中、『米軍基地いらない京都府民の会』は、12月26日、京都府に対し、米軍Xバンドレーダーの本格稼働・運用開始の通告にあたって、緊急要請を行ないました。

緊急要請では、①レーダ設置そのものに反対であること、②環境評価ができていない、③住民の安全・安心の確保の上で、防音対策・交通事故対策の抜本的改善ができるまで、レーダーの運用は一旦停止すべきと米軍・政府・防衛省に求めること。④5月20日時点で示した7項目の未履行の実施、⑤軍属居住のホテル周辺の住民説明会もなされていないもとの、住民への謝罪と説明を防衛省に求めることなど、要請。京都府は、辻村・総務調整課長が対応しました。

主なやりとり

Q: 本格稼働・運営開始については

A: まだ聞いていない。今週中だと思う。(その後、26日夜に通告。)

Q: 本格稼働になれば、現状はどう変わるのか

A: 変わることはないと思う。初期照射の段階から24時間体制となる。騒音が、さらにうるさくなると思っていたが、今のままと変わらない。交通事故は人身事故ではないが、6件と多い。昨日(12月25日)経ヶ岬に行って、米軍に直接、対策をとっていただくよう要請した。雪道の安全対策として、1月に委託業者のレイセオン社とシェネガー社に講習を行なう。また、短期の人に徹底するとの回答を得た。これからも、防衛省を通じてではな

く、直接に米軍に要請していきたいと考えている。騒音対策では、年内に消音装置(同様の音を出し打ち消す)を設置する。

Q: 要請は京丹後市も行ったのか

A: 京丹後市も同席した。自治体も懸念を持っていることを伝えた。知事も会見の中で、直接(米軍に)いえるようにしたいと言っている。オルブライト司令官はいなかったが、ナンバー2の方が誠実に対応した。騒音対策のマフラーの設置は米軍が行なう。防音ハウスは、防衛省が予算要求している。

Q: これで解決できるのか、本格稼働になり常時夜間照明となるが

A: 音をなくすことに専門家も入れる。今まで思いつきだったが、抜本的とはなる。夜間の照明についての指摘は、私も見てみたい。

Q: 警備体制は変わるのか、レーダー周囲で小銃に弾を込め、国道側に出ているのも見られた

A: 「(米軍は)敷地内」というが、脅威を与えていると指摘し、目立たなくなった。警備がどう変わるか、住民を威圧するようなことはいけない。

Q: 一時的な講習でなく日本の免許取得に準じたしくみに

A: 通勤はバスだが、オフもある。技術的にも事故は起きないとは言いきれない。公務中もあれば、私用もある。防衛省が「全て対応する」としていた点は確認する。これまでの事故は、全てレンタカーだったので防衛省は関与していない。事故の報告のタイム・ラグはあるが、システムやルール化は必要だ。

また、「府民の会」は、住民説明会の実施、軍属の住居地、浄化水槽の設置と水質検査、低周波による健康被害の調査などについても、回答を求めました。

あけまして
おめでとうございます



2015年 元旦

・発行: 米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称: 米軍基地いらない京都府民の会)

連絡先: 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

2014年12月26日

京都府知事 山田啓二 様

米軍基地いらない京都府民の会

Xバンドレーダーの本格稼働開始に関する要請書

日ごろのご活躍に敬意を表します。

さて、防衛省は、今週中に京丹後市経ヶ岬の米軍基地のTPY-2レーダー（Xバンドレーダー）の必要な点検を完了し、本格稼働に入ることを、京都府などに通告しました。しかし、この米軍基地の運用は、北東アジアの緊張を激化させ、平和の流れに逆行するもので、私たちは根本的に反対です。

同時に、現地では、現在、米軍基地で発生する騒音に24時間悩まされ続けているとともに、10月に米軍と軍属が配属されて以降、すでに6件もの交通事故が発生したことに不安を強めています。

防衛省は、米軍基地設置に係る安全・安心対策を着実に進めるとし、騒音に関しては、防衛省や米軍が対処するとしてさまざまな対策を講じ始めていますが、いまだに解決に至っていません。また、交通事故もきわめて初歩的な事故が多いことから、いつ、大きな事故が発生するのか不安が強まっています。

近隣の住民の生活に重大な支障をもたらしている状態のままでの本格稼働は許しがたいものであり、この点からも、本格稼働に反対するものです。

私たちは12月23日に850人が参加して京丹後市峰山で「丹後に米軍基地はいらない」との声をあげる集会を開催し、市民にもアピールデモをして訴えましたが、引き続き、米軍基地の撤去を求めます。今回の本格稼働に関連して、以下の要請をします。

記

- 1、 米軍基地の設置は北東アジアの緊張を高めることから、米軍基地の設置の撤回を政府・防衛省に求めること。
- 2、 そもそも環境評価（JEGS）をきちんと行わなかったことは大きな問題であり、再度、この環境評価の実施と公表がすむまで、一旦、米軍基地の稼働を行わないよう政府・防衛省に求めること。
- 3、 米軍基地の運用に関連して、住民の安全・安心が確保できていない状態のもとで、以下の点を政府・防衛省に求めること。
 - (1) 騒音問題が解決しない中、抜本改善が望めるまで一旦運用を停止すること。
 - (2) 交通事故が多発する中、単なる安全講習ではなく、日本の免許証取得に準じた講習と検定パスをしたものだけに、運転許可を与えるよう米軍に求めること。
- 4、 京都府が防衛省に求めた要請事項のうちの未履行部分についての誠実な実施を政府・防衛省にあらためて求めること。
- 5、 政府・防衛省による住民への説明が全くなされないに等しい不誠実な事態が続き、住民を愚弄する結果ともなっており、住民への謝罪と説明を持つよう政府・防衛省に求めること。

以上

米軍基地いらない京都府民の会 代表者会議

2月5日(木) 午後6時30分から
ラポール京都 4階 第9会議室

■現地からの報告 田中邦生・日本共産党京丹後市議員
■米軍基地問題—その運用と問題点 片岡明・京都平和委員会事務局長
■この間のとりのくみの経過と課題について 辻昌秀・「府民の会」事務局長

●過去の「米軍基地いらない京都府民の会」のニュースは、
下記のURLでご覧になることができます。

<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>